

国臨協新潟地区会会報

朱鷺っ と

2022 年 8 月発行 第 95 号

発行者 : 中島 亮 (新潟)
編集委員 : 太田 明宏 (西新潟)
竹内 英規 (さいがた)
玉井 真紀 (新潟)



苗名滝

(新潟県妙高市)



転出者挨拶



**沼田病院
臨床検査技師長
柳澤 隆司**

『新潟地区会を転出して』

この度、4月1日付で沼田病院へ昇任となりました。さいがた医療センターに在任中は、新潟地区会の皆様には大変お世話になり有難うございました。

新潟県（上越市）には縁もゆかりなく、また、初めての単身赴任で生活や仕事に不安を感じながら、さいがた医療センターに着任したことを覚えています。その年の6月に地区会主催のレクリエーションがありました。酒蔵の見学、そして海辺でのバーベキューに緊張しながら参加し、会員の皆様と和やかに交流を深めることができ有意義な時間を過ごすことができた事と思います。2年目は副会長を拝命されましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、それ以降の研修会・交流会が中止となり会員の皆様とお会いすることができないまま、異動となりとても残念でした。

私自身、海なし県の長野県出身で海に憧れがあり、週末になると海岸線を車で走っているうち知らずに上越市から新潟市までできているがしばしばありました。その後は、大好きなラーメンやご当地グルメを食べて、新潟を堪能することができました。また、リース官舎はさいがた医療センター敷地内にあり、海岸まで歩いていける距離にもありとてもいい環境でした。

沼田病院はがん診療、救急医療などの急性期医療、回復期医療、へき地医療、災害医療、感染症への対応など多岐にわたる診療を行っています。私が着任して2か月が過ぎました。管理職となり、会議の出席・他部門との連携または交渉など、初めての経験ばかりで毎日が緊張の連続です。検査科内は8名技師で業務に当たっています。小規模施設なので他部門、特にコメディカルとは横の連携が取れ、雰囲気良く楽しく勤務しています。

最後に、新潟地区会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、異動の挨拶とさせていただきます。



栃木医療センター 臨床検査技師長 宮澤 寿幸

『転出者挨拶』

このたび、4月1日付で栃木医療センターに異動となりました、宮澤です。西新潟中央病院在任中は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、地区会対面形式での総会や交流会などの地区会活動が見送られ、会員の皆様にお会い交流を図ることができませんでした。朱鷺っとの過去の記事にある、利き酒会・そば打ち体験など、楽しそうな写真を見るにつけ、羨ましく思った次第です。新潟県に住み、米、酒、魚がとびっきり美味しいと感じられたのも大きな収穫でした。またの機会にじっくり新潟を満喫したいと考えております。特に佐渡に行くことが出来ず、残念に思っているので、何とか佐渡まで足を延ばしたいと思っています。

私は、今回の異動が、静岡、長野、千葉、新潟、そして栃木と5県目になります。流石に異動にあたり、引継ぎ書作成、引越し荷造り・荷ほどこき、そして新転地の体制に慣れることに、身体が辛くなり始めました。本音を言えば、今後1回位の異動であって欲しいと願っています。栃木に住むのは、今回初めてですので、栃木にいる間に日光や那須高原への観光、いちごに餃子に焼きそばとグルメも楽しみたいと考えています。しかしながら、まずは業務あつてのプライベートです。栃木医療センター検査科を熟知するにはまだまだ時間が掛かりそうなので、お楽しみは、しばらくお預けになりそうです。新型コロナウイルス対策、病院機能評価、看護学校講義の準備とゆっくりする時間は、あまりありませんが、今ある仕事を全力で対応したいと考えております。今後は、アフターコロナを見据えた検査室の運用を考えて病院に貢献したいと考えております。

最後に、新潟地区会の会員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。早くコロナ禍が収まり、新潟県の地区会活動が通常通り開始されることを心より願っております。新潟地区会の益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈りし、移動の挨拶とさせていただきます。

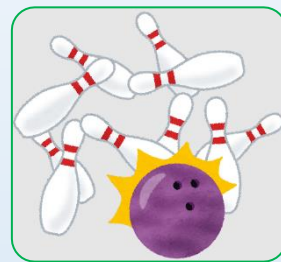


転出者の方々の益々のご活躍を
期待しております！！

転入者挨拶



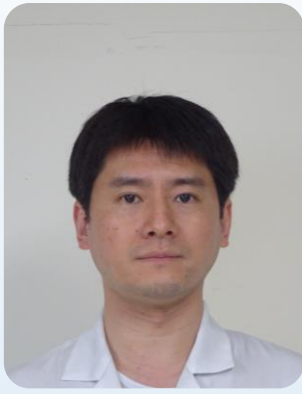
**西新潟中央病院
副臨床検査技師長
太田 明宏**



令和4年4月1日付けで西新潟中央病院に赴任いたしました太田明宏と申します。

私の出身は長崎県南島原市で、海や山に囲まれてとても自然豊かなところです。食べ物では手延べそうめんが有名で、島原・天草一揆の主戦場跡（原城跡）は2018年に長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産として日本の世界遺産に登録された場所でもあります。現在は群馬県高崎市に住居を構えております。勤務地は東京医療センター(賃金職員)、沼田病院、国際医療研究センター、宇都宮病院、沼田病院の順で転勤し今回で6施設目となり初めての単身赴任を経験しています。最近、コロナ禍で運動不足解消のため仕事で自宅に帰れない週末などは趣味のボウリングをするためにラウンドワンへ足を運び、マイボール、マイシューズでベストスコアを目指しながら楽しんでいきます。

さて今年度、宮澤前副会長の後任で新潟地区会副会長を務めさせていただきます。昨年度はCOVID-19感染拡大により地区会活動が出来なかったと聞いております。今年度もまだまだ終息が見られないためリモートによる第2回理事会が行われましたが、5～6月に予定されていた地区交流会が中止となり、皆様とお会いして情報交換等できなくなり残念に思っています。今後も地区会の行事予定がありますので、中島会長をサポートしながら、地区会活動に貢献できるよう務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



さいがた医療センター 副臨床検査技師長 白井 洋平



この度、令和4年4月1日付でさいがた医療センターに赴任しました、白井洋平と申します。出身は北海道ですが、親が転勤族だったこともあり、これまで北海道→熊本（八代→人吉→八代）→東京→埼玉→群馬、そして今回の新潟と移り住んできました。機構に就職してからの勤務地は、がん研究センター中央病院、高崎総合医療センターで、さいがた医療センターが3施設目となります。まだまだ新しい施設の業務に慣れておらず、四苦八苦しながら技師長を始めスタッフの方々からご指導頂きながら日々を送っております。

自分にとって新潟県は縁もゆかりもないと思っていたのですが、今回異動になったことを父親に伝えたところ、自分が生まれる前に数年間上越市で働いていた時期があったことを聞きました（医療職ではありませんが）。当時（約50年前）の話を聞き、そのころと変わったところ、変わってないところを探して、帰省した際に報告していこうと考えております。

新潟地区会には以前の施設でお世話になった方々もいますが、コロナ禍の為直接お会いする機会がまだまだ無いのは残念です。状況が落ち着き、交流が再開された際には皆さまにお会いできるのを楽しみにしておりますので、今後ともよろしくお願い致します。





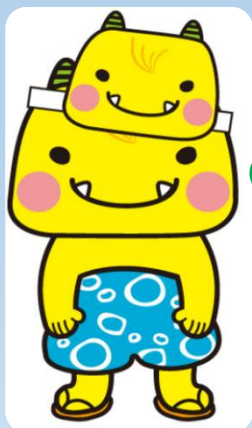
西新潟中央病院 臨床検査技師 今井 佳子



令和4年4月1日付けで高崎総合医療センターから西新潟中央病院に配置換えとなりました今井佳子(いまい かこ)と申します。国立病院機構に入職してから3施設目となり、今回の転勤で出身地である新潟県に戻ってくることができました。私の卒業した専門学校は病院に隣接しており、見学に行ったり講師をしていたいたり学生時代は病院のある新潟市西区に住んでいて、学校帰りに小針浜に遊びに行っていたので、海を見る度帰ってきたんだなと実感しています。西区はラーメン屋が多く、特に新潟大学周辺にはじろう系や家系がたくさんあるので、休日は友人とよく食べに行っています。

検査技師として働いて今年で5年目となり、まだまだ未熟で経験不足ですが、少しずつコロナ禍以前のように学会や研修会が開催されつつあるので今年は積極的に研修会に参加し、これまでの経験を通して自身に必要な知識や専門としたいと思う分野を見つけ資格取得に向け頑張っていきたいと思っています。

せっかく新潟に戻ってこれたので、早くコロナが終息し、新潟地区会で皆様にお会いできることを楽しみにしています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



転入者の皆様、今後とも
よろしくお願いします！！

産休・育休復帰挨拶



新潟病院
臨床検査技師
菅井 めぐ美

新潟病院の菅井めぐ美です。昨年3月から産休に入らせていただいております、今年の5月に復帰しました。産休前はつわりでお休みをいただき、検査科のみなさんにはご迷惑をおかけしました。みなさん、オンコール当番の変更や免除、急なお休みの対応にも大変ありがとうございました。安心して産休まで勤めることができました。

子どもは今1歳になり、ハイハイをしたり掴まって歩いたり、元気に育っています。お休みに入る時には、心にぽっかり穴が開いてしまったような気持ちで落ち込んだりもしました。今は少しずつ体も慣れてきて、楽しく勤務させていただいております。

育休のお休みを利用して編み物を楽しみました。編み物教室に通い子どもの帽子、ベストやマフラーなどを編みました。できあがっていくのが楽しくて夢中になりました。

また、ベビーマッサージというものを初めて行いました。わらべうたを歌いながら赤ちゃんの体をなでてスキンシップをとるものです。赤ちゃんとお母さんの情緒を安定させ、寝付きをよくしたり、便秘にもよいそうです。教室へ通い、同じくらいの赤ちゃんを持つお母さんたちとの交流も気分転換になってよかったです。

助産師さんによる無料の産後ケア施設の存在も大きかったです。産後ケア施設は個別の予約制で、日頃の育児の悩みや産後の体調の話も聞いてもらえる施設です。どこに相談したらいいのかわからない乳腺の悩みや日々の育児の悩みを助産師さんに聞いてもらいとても助かりました。

お休み中には日々の感染情報のニュースが、耳に目に入ってきてしまい、私自身も不安になったりしました。しかしまわりの人や環境に助けてもらいながら充実した育児休暇を過ごすことができ本当に幸せだったなと思っています。

今後は休んでいた間の仕事の感覚を取り戻せるよう一つ一つの仕事に責任をもって取り組み、認定資格取得等のスキルアップにも挑戦したいです。地区会の方々に会いできるのを楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地区交流会についてのお知らせ

『地区交流会開催中止のお知らせ』

新潟地区会会長 中島 亮

地区交流会について各施設の理事たちと検討を重ねてまいりましたが、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、中止したほうが良いとのご意見を多数頂戴いたしました。会員の皆様と情報交換し親睦を深め、レクリエーションを開催したいところでしたが、中止とさせていただきます。今回は、残念ながら中止とさせていただきますが、新型コロナウイルス感染状況が改善され良好となった際には、何らかの形で皆様と親睦を深めたいと願っております。

今後の新潟地区会の予定として、朱鷺っと発行（10月予定）、定期総会と行事がありますので、引き続きご協力よろしく願いいたします。



新潟県柏崎のPRキャラクター

三階節の冒頭の歌詞「米山さんから雲が出た、いまに夕立が来るやら ピッカラ シャンカラ ドンカラリンと音がする」の雷から鬼を連想したり、「鯨波鬼穴」の伝説、閻魔堂の地獄絵図など、柏崎には鬼と関連するものがいくつかあります。



今年度活動予定



- ・ 地区会定期総会・研修会
日程：令和4年11月予定

- ・ 「朱鷺っと」発行
年3回（1・7・10月）

※新型コロナウイルス感染症の状況により
変更となる場合があります。



編集後記

今年はアツという間の梅雨明けとなりましたが、皆さま夏を満喫していらっしゃいますか？ 柏崎では海の大花火大会が3年ぶりに開催されました。私のおすすめは「尺玉100発一斉打ち上げ」です。体にドーンと響く花火は圧巻です。どうぞ機会がありましたらぜひ見にいらしてください。開催は毎年7月26日となります。（M.T）



番神海水浴場より
（新潟県柏崎市）

新潟地区会事務局
NHO新潟病院
臨床検査科内
TEL：0257-22-7754